

第12回 市長と話そうの様子

開催日時	令和7年9月26日(金) 15:00 ~ 16:30	場所	上北地区コミュニティセンター
団体名	上北地区地域振興協議会(上北ん会)		
団体概要	上北地区を住みよい地域にするため、住民同士が助け合い、支え合い一体となって上北の地域づくりに資するさまざまな活動を実践しています。		
話し合いのテーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・リ・スタートうすきについて ・上北地区のこれからについて 		
参加者	21名(団体メンバー20名、西岡市長)		

対話の様子

対話では、「リ・スタートうすき」(西岡新市政がめざすべき臼杵市の未来)や上北地区のこれからなどについて意見交換が行われました。参加者からは、以下のようなお話やご意見がありました。

- ・パークゴルフ場など臼杵の中で行きたいと思う場所が増えている。オレンジカフェなどのサロン活動も地域で活発に開催されており、いつも感心している。
- ・大友宗麟が大河ドラマになれば臼杵市のPRにつながる。
- ・上北地区は交通量が多い。特にコミュニティセンターの前の道は、平日は通勤者やトラックが多く、スピードを出す車も多いので信号を設置してほしい。
- ・コミュニティバス(パークゴルフ場線)が週2回しか運行していない。今は車の運転ができるから良いが、免許を返納した後のことを考えると、移動手段の面で心配である。
- ・臼杵の農業は個人経営が多く規模も大きくないため、作業工程に応じた農機具を揃えることが難しい。かつて各地域で推進されていた集落営農組織を復活させたり、新たに注力してほしい。
- ・退職後、農業をやろうと思い、生姜の生産を始めた。生姜は、臼杵せんべいなど臼杵市にとってなじみのある農作物なので生姜の生産を推進してほしい。

市長からは、以下のような話がありました。

- ・(「リ・スタートうすき」について)
リスタートうすきをスローガンに、「①子育てしやすく、働きやすいまちづくり」、「②臼杵の地域資源の魅力発信」、「③住み慣れた地域で安心して暮らせるまち」を三本柱として、人口減少・少子高齢化社会を正面から受け止め持続可能なまちづくりを進めたい。
- ・地域経済対策や物価高騰対策として、地域内の店舗でのみ利用可能なデジタル地域通貨を導入したい。
- ・臼杵市は、大在や坂ノ市といった大分市の中でも人口が増えているエリアに隣接しているが、そこに流出する人たちが臼杵市に呼び戻したいと思っている。小中学生対象の学力調査の結果も県内トップクラス。市内小中学校では、全ての生徒がタブレットを使って最先端の授業を受けている。臼杵市は子育てしやすいという点をしっかりPRしていきたい。
- ・本日ご意見としていただいた課題については、しっかりと受け止めて考えていきたいと思えます。

たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。「市長と話そう」では、市民の皆様の声を聴き、一緒に考え、よりよい臼杵市の未来を描くため、今後もさまざまな団体と対話を行っていきます!

